

(一社)福島市私立幼稚園協会 教育研究部会 第1回 合同研修会

日時 : 令和7年7月9日(水) 15:00~17:00

タイトル:「子どもの遊びの見立てについて」

講師 : 認定こども園幼稚園・中野どんぐり保育園

園長 長瀬 薫 先生

会場 : 福島グリーンパレス



《第2回全体研修会に参加して～アンケートから～》

【1 感想】

① 子どもの発達理解

- ・子どもの発達の経過を具体的に捉えられ、非認知能力の大切さを再確認できた
- ・5歳児の感情や気持ちの芽生えについて具体的に学べた
- ・5歳児の発達と遊びについて映像で理解が深まった

② 事例からの学び

- ・イチゴ収穫や年少児への試食場面から、憧れが次世代へつなげる姿を実感
- ・リレーやイチゴ栽培の事例が有意義だった

③ 学びの方法に関する気づき

- ・実践動画やパワーポイントが分かりやすかった
- ・具体的・実践的な話が分かりやすかった
- ・動画で育ちの姿を比較できた

④ 保育の在り方・実践への示唆

- ・発達特性と遊び・活動のつながりについて学べ、「遊び保育」研究に役立った
- ・一斉保育が自由遊びにつながることを改めて実感し、子どもの小さなつぶやきや姿を楽しく見られた
- ・自分の思いを伝えたり相手の思いを聞いたりする姿から、保育者の見守りや仲立ちの重要性を再認識
- ・トラブルも学びの一部であり、主体的・対話的な保育の大切さを感じた
- ・一斉活動と自由遊びのバランスの重要性を再確認し、行事が増える時期にこそバランスの保障の必要性を感じた

【2 今後の保育に生かせること】

- ・声をかけすぎず、失敗から工夫する経験を大切にしたい。
- ・過度に介入せず、決まらない・うまくいかない経験も学びとして見守る。将来的な「こども会議」にもつながる。
- ・先生が「やらせる」のではなく、子どもの姿や表情を活かす行事にしたい。
- ・子どもの考えを引き出し、待つことを大切にする。子ども主体の話し合いの場を保障する。
- ・誕生会のインタビューや飾り付けを子どもに任せ、自由遊びで図鑑を活用するなど遊びを充実させたい。
- ・自分で考え伝え、相手の思いを聞けるような関わりを意識する。
- ・年齢に応じた参画を考え、遊びの学びを逃さず共に学ぶ姿勢を持ちたい。
- ・コーナー分けなど環境づくりを研究し、遊びが広がるように取り入れたい。

【3 その他研修についてのご意見】

- ・3・4・5歳児の一斉活動と自由遊びのつながり、援助や環境構成について継続的に学びたい。
- ・前回司会者が決まっていなかったため、事前に決めておくと良い。
- ・6月半ば頃の研修計画も検討してはどうか。
- ・14時まで保育があるため、15時半頃から開始すると余裕を持って参加できる。
- ・5歳児以外についても詳しく学びたいという意見があった。
- ・役立つ研修だった。

◎共通して見られた反省点と今後に活かす方向性・学び

視点	主な反省点	今後に活かす方向性・学び
保育者の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の話し合いやトラブルに過度に介入してしまうことがある ・声をかけすぎてしまい、子どもの考える時間を奪ってしまう場面がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・「待つ」「見守る」姿勢の大切さを再確認 ・言葉かけや援助の仕方を工夫し、子どもの主体性を引き出す必要がある
子どもの発達・成長の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢ごとの発達段階を十分に理解しきれない部分がある ・5歳児中心の学びに偏り、他年齢への視点が不足していた 	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉活動と自由遊びのつながりが発達を支えることを実感 ・5歳児の新しい感情や「憧れ」が次世代へつなげる姿を理解 ・トラブルやうまくいかない経験も成長の一部であると捉える視点を得た
環境構成・保育内容の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・環境づくりの工夫が十分でない ・園庭や遊びの場の広がりや改善の余地あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーナー分けや環境構成によって遊びが広がる ・誕生会や自由遊びに子どもが参画できる仕組みを取り入れる重要性を確認 ・行事は「やらせる」ものではなく、子どもの日常の姿を活かす場にするべき
研修運営・組織の視点	<ul style="list-style-type: none"> ・司会者など役割分担が不十分で当日の進行に不安があった ・時期や時間帯が参加しづらい状況もあった 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は6月半ばや午後保育終了後など、参加しやすい時期・時間設定が望ましい ・5歳児以外の発達段階についても学びの機会を設ける必要がある